



碧南ロータリークラブ週報

第2290回例会 平成17年11月2日(水)

●会長 岡田 超勇 ●幹事 龟山 裕一 ●SAA 長田 豊治

■例会日 毎週水曜日 12:30 ■例会場 碧南商工会議所ホール

■事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市藤沢神明町90

TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100

ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>

E-mail: info@hekinan-rc.jp

■会報委員 杉浦昌裕・角谷信二・清澤聰之・岡本明弘

超我の奉仕

2005~2006年度
国際ロータリーのテーマ



● 齊唱

国歌 「君が代」

ロータリーソング「奉仕の理想」

● 四つのテストの唱和

● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

● 本日のお客様

あおみJセンター所長 水野啓章様
ひろあき

米山奨学生 蔡 於今さん



岡田超勇会長



水野啓章様

会長挨拶

今日は「ロータリー財団月間」です。碧南RC「米山奨学生財団」も「ロータリー財団」にも皆様方のご協力のもと、毎年相当な額の寄付を続けています。感謝申し上げます。

先日、ロータリー財団の委員会に出席して解った事ですが、事業をすると地区の方から600万円位のお金が補助金として下りるそうです。今まで碧南RCは市民を巻き込んだ事業をしたことが無いので、財団に寄付は続けていても、その恩恵を受けたことが有りません。その様な訳ですので、本日井上達夫君が「ロータリー財団」についての卓話をされますので、よく聞いて一度検討する機会にして下さい。

幹事報告

- ・他クラブの例会変更等は別紙幹事報告の通りです。
- ・過日ご案内致しましたガバナー補佐杯ゴルフ大会にゴルフ同好会幹事の皆さんのお骨折りで当クラブより12名の方に参加して頂ける事になりました。会長、副会長、幹事はゴルフをしませんので一緒にプレーはできませんが選手の皆さんのご健闘を祈念致します。
- ・本日補助金の贈呈を行いましたあおみJセンターの事業報告並びに事業計画が本日の資料の中に入れてあります。お目通し下さい。
- ・今月の理事会は今日ではなく当初予定通り次回例会後に行います。お間違の無い様にお願い致します。

委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数 78名 (内出席免除者 15名) 出席者 68名	
出席対象者 55／63名	出席率 87.30%
欠席者10名(病欠者0名)	前々回修正出席率 98.41%

〈ニコボックス委員会〉

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

- 井上 達夫君 ロータリー財団の話をしてPRをさせて頂きます。会員のご理解をお願いします。
- 平岩統一郎君 米国ハリケーン被害者義援金を姉妹都市エドモンズ訪問団が持参し、姉妹都市委員会をとおして寄付しました。約50万円集まりました。有り難うございました。
- 犬塚 敦統君 10/29、30雨の中チャリティー100km歩け歩け。420名参加、370人完歩。
ご協力頂いたメンバーに深く感謝致します。
- 奥田 雪雄君 教育委員長にこのたび就任致しました。皆様にお世話になります。
よろしくお願ひ致します。
- 岡本 明弘君 犬塚敦統さんに大変お世話になりました。貴重な体験をする事が出来ました。
有り難うございました。
- 森田 雅也君 10/29、30と犬塚様のところの100kmウォークで完歩をさせて頂きました。たくさんの感動を頂きました。有り難うございました。23時間45分でした。
- 深澤 元喜君 明日の文化の日、碧南火力発電所で、「ふれあい広場」を開催いたします。時間があればお越し下さい。

〈親睦委員会〉

11月会員誕生日

12日 山下 照君	20日 森田 英治君	20日 鈴木 輝彦君
22日 神谷 研君	27日 奥田 雪雄君	29日 竹中 誠君

奥様誕生日

2日 堀田 益隆君の奥様・美代子様	3日 石川 春久君の奥様・美鈴様
17日 鈴木 輝彦君の奥様・智子様	18日 横山 善久君の奥様・悠久子様
20日 木村 徳雄君の奥様・小百合様	23日 深世古裕治君の奥様・三千代様

結婚記念日

2日 石川八郎右衛門君・浩子様	44年	2日 森田 英治君・明美様	47年
2日 犬塚 敦統君・清子様	38年	3日 岡島 淳一君・綾子様	43年
5日 横山 善久君・悠久子様	44年	5日 木村 克美君・由利子様	37年
6日 杉浦 求君・静子様	40年	8日 新美 雅浩君・美由紀様	18年
12日 杉田 茂君・きよみ様	27年	22日 堀田 益隆君・美代子様	38年
24日 岡田 超勇君・明美様	35年	28日 竹下 豊君・佳子様	34年

11月入会記念日

2日 中根 佑治君	4日 植松 敏樹君	4日 奥谷 弘和君
-----------	-----------	-----------

卓話

「ロータリー財団について」 R財団委員長 井上達夫

① ロータリー財団

ロータリー財団（以下R財団）は、国際ロータリー（以下RI）が事業を行っていくのを支援する為に設立されました。

組織上はRIの中にある訳ではなくて、RIとは別の法人組織になっています。しかし実際の運営はRIから派遣された管理委員によるものでRIの一部と考えても不都合ではない

ようです。三つの事業を行っています。

寄付金募集

資金運用

資金活用

② R財団の財務 資料1, 2, 3

③ 国別(2004年まで) 資料2

総額ではアメリカ・日本・韓国・の順、一人当たりでは、韓国・台湾・日本の順

④ R財団への協力お願い

R財団への理解と協力をお願いします。自発的に寄付して頂くものです。すでに1人当たり4,000円の寄付をして頂いています。更にまだポールハリスフェロー(以下PHF)になっていない方は1,000ドル寄付してPHFになって下さい。既にPHFになっている人は、マルチプルフェローになって下さい。ベネファクターにもなって下さい。ベネファクターも一回には限りません。他にも色々な寄付の仕方があります。

⑤ 今年度のお願い

今年度は多くの方がマルチプルフェローになって下さるようお願いしたいと思っています。碧南RCでは、歴代委員長の努力によって、殆どの会員がPHFになっておられます。そして、PHFの方に二巡目の寄付をして頂いてマルチプルフェローになって下さるよう、お願いします。(事業計画書・報告書にPHFのリストが載っています)特別にどなたにと、特定の方に名指しはしないつもりです。自発的な申し出をお待ちしています。委員長に直接でも、事務局にでも結構です。入会間もない会員は、いきなりR財団と言われても何のことか解らないかも知れません。委員会として、R財団月間や委員会報告などで、理解して頂く様務めます。1~2年してR財団というものが解ってきたら、こういうロータリーへの寄与の仕方も有るのだとご理解して頂いて、是非PHFになって下さるようお願いします。

⑥ I serveとWe serve

ロータリークラブでは「奉仕」を目的として結成されている団体です。その奉仕について、ロータリーではいつもI serveとWe serveのどちらが本筋かが議論されています。そして、I serveがロータリークラブの本筋だと言う説が有力です。(少なくとも日本では)(奉仕する人の集まりがロータリークラブだという言い方が有ります。ロータリークラブとしてまとめて奉仕するのは、本筋でないという考え方になります。)

奉仕としてのR財団への寄付は、個人が自発的に行うという意味ではI serveの意味があるのでしょうが、R財団として大きな金額を使用すると言うなら、We serveと考える方が普通だと思います。

昔の碧南RCには財団寄付について、あれは日本の全てをアメリカへ持って行って、RI会長やR財団が勝手に使うのだから、余り協力することは無いと言う議論があったと聞いていますが、本当だったでしょうか?これは金を出すのが嫌という功利的な意味ではありません。I serveをそっちのけにしているのでは無いかという疑問が有りました。

RIやR財団が一方的に指示してくる事への反発がありました。各RCの自主性を尊重すべきという考え方方が強くありました。RIは各RCの上位団体では無いはずです。R財団は活動報告や経理報告がはっきりしない、又は遅れると言う非難が有りました。(ドル建てなので解りにくい点が有ります。)

私もRCの本質はI serveにあると思っています。しかし、RCの活動は多彩であるべきですから、R財団のような形の奉仕も必要なのだろうと思っています。RCはI serveで始まりましたが、それだけでは不足もあります。I serveの事業だと、どうしても小さ



会員 井上達夫君

くて目に付きにくい事が有ります。

陰徳という言葉がありますが、国際的には通用しにくいのかも知れません。社会的な要請は大きなものがあります。特に国際的にみると貧富の差は莫大です。そこで、「奉仕」を標榜するRCへの期待も大きくなっています。それに応えるのも奉仕活動の一つです。

RCのイメージを高める為には、この様なデモンストレーションも必要でしょう。広義の広告活動です。

⑦ R財団活動の意義と広報

R財団活動の仕事が宣伝の為というわけではありません。意義のある活動が行われるべきなのは当然です。しかし、現実に行った意義のあった事業を広報する事は必要でしょう。しかし、日本のロータリアンは広報は控えめにした方が良いという考え方があったのでしょうか。私も余り派手に宣伝したいとは思いません。しかし、アメリカあたりでは、立派な事業をしたなら、声を大にして広報すべきだと言う声もありました。

⑧ 福田清成PGの発言

平成17年5月8日の地区協議会で、福田清成PGはRC発足当時の「親睦」と「相互扶助」だけだと周囲から白眼視されたが、そこへ「奉仕」が加わって始めて社会から認知されたと言う意味の発言をされました。

クラブとか結社というものの性質には、排他性があります。「一業種一人」がその典型です。しかしクラブとか結社というものは、外部から疑われたり、うさんくさいものと思われる事があります。敗戦前の日本ではRCは敵国アメリカに通じているのではないかと疑われて、一旦消滅しました。全体主義、専制国家ではRCのような自発的な団体は眼の敵にされます。日本では大政翼賛会というものに統合されました。その結果はご承知の通りです。

結社と言うものが反社会性、反体制性・利己性を帯びてくることはよく見られました。初期はそうでなくとも、次第にそのような性質を持ってくることがあります。又、初めから反社会、反体制を目的に結成される場合もあります。

ヨーロッパのローゼンクロイツ、フリーメイスン、アメリカのKKK、イタリアのカルボナーリ、マフィアなどの例があります。初期は労働組合にもそういう傾向が有りました。

私達はロータリークラブという閉鎖的な組織を作っています。このRCが、政治目的、経済目的、利己主義、反社会的目的、犯罪目的とは全く無関係という事を世間に示したいものです。

外へは「奉仕」を、内部では「親睦」と「相互研修」を目的とするものだと言うことを示したいものです。（「相互扶助」という言葉を用いましたが、これは精神的な支え合いということで、会員同士が特別に物資的な利益を与え合うことは「職業宣言」ではっきり望ましいことではないとされています。）それでもロータリークラブというと、反社会的ではないらしいが、特別の人が集まって何かうまい事をやっているのではないか、自分達だけに都合の良いことをやっているのではないか、という「やっかみ」もあります。

「奉仕」を目的とする集まりで、その奉仕の例として、色々な事業を行ってみせるということは重要な事と考えます。

⑨ 碧南RCのR財団への寄与計画

RI、R財団に協力することは、重要であると認識されて、毎年1人4,000円の寄付を行っています。これは理事長の決議によっています。もう大分前から行われています。4,000円というと約37～38ドルです。現在のRIやR財団では、各ロータリアンが毎年100ドル寄付しようと呼びかけています。我がクラブの4,000円の寄付は、その一部なっています。

本年度の目標	4,000円×75人=300,000円	約2,850ドル
PHF、マルチプルフェロー	2人	2,000ドル
ベネファクター	2人	2,000ドル
		合計	6,850ドル

⑩ 寄付の実際 資料4, 5

- 年次寄付金

寄付金そのものを使用します。

- 使途指定寄付金

ポリオ プラスがその例です。

- 恒久基金寄付金

寄付金は積立て、その利益を使います。



⑪ 寄付者の資格と名称

- ポールハリスフェロー (PHF)

1,000ドルの寄付をした人への称号です。一度に1,000ドルでなくとも、何回かに分割してもその合計が1,000ドルになったら可。証書をくれます

- マルチプルフェロー … 毎1,000ドル毎にバッチをくれます。

- ベネファクター … 恒久基金へ1,000ドルの寄付

- 「財団の友」会員 … 每年100ドルづつ寄付するやり方

10回で1,000ドルになりPHF になります。100ドルとは限らず200ドルづつでも500ドルでも良いそうです。

- 大口寄付者

10,000ドル寄付した人に与えられる称号です。一度でなくても累積していきます。

PHF、ベネファクター、使途指定の合計で計算します。

2004年度に第2760地区で3人誕生しました。記念品をくれます。

- 遺贈友の会 … 遺言で遺産10,000ドル以上を財団に残した人の遺族に。

⑫ R I 会長とR財団

R I 会長によってR財団への寄付を強調する人とあまり協調しない人があります。今年のステンハマー会長は特別に寄付をうるさく言ってはいないようです。しかし、ステンハマー会長の言う水の問題や識字率向上には資金が必要ですから、R財団寄付が重要である事は変わりません。

アメリカはR C 発祥の国ですから寄付金総額は当然1位です。日本の寄付金は第2位でこれの貢献度は明らかです。国連負担金を多く出している割合に、日本の国連内での地位が高くないような気がします。ロータリークラブでも同じようなニュアンスの気持ちになりますが、私のひがみかも知れません。

⑬ 昨年の碧南R C の貢献度

総額 15,451.73ドル (2760地区で81クラブ中17位)

一人当たり 118.35ドル (2760地区で81クラブ中23位)

81クラブ中で相当な位置にいます。昨年度の山田委員長の御努力と会員の御協力に感謝します。

⑭ R財団は何をしているか 資料3

- 教育的プログラム

国際親善奨学生派遣

研究グループ交換

その他にもあります

・人道的補助金プログラム

地区補助金

個人向け補助金

マッチング グラント

3 H (Health, Hunger, Humanity) 中断していましたが再開するそうです。

・ポリオプラス

特別の目的の為

⑯ 地区への還元 資料 6, 7, 8

寄付金をR I が皆使ってしまうのでは、せっかく各クラブ会員、各クラブ、各地区の善意に応えるとは言えません。

シェアシステムというものが考えられました。寄付金(3年前)の50%を各地区が使えるというシステムです。第2760地区での使用例を資料 6, 7, 8 に示します。

2005年度分はもう決定済みになりました。実際には次年度の社会奉仕、青少年奉仕などの活動を計画する時に、こういう制度の有ることを知っておいて、早めに申請する必要があります。

⑯ R財団の歴史

R I の活動資金として1917年に提案されました。

アーチ・C・クランフの提案 (アトランタの国際大会で) このクランフの名は有名です。覚えておいて下さい。

当時から I serveかWe serveかの議論があったそうです。

1928年の国際大会でロータリー財団と命名されました。

1931年に信託組織になりました。

1947年P・ハリスの死去に際して、世界中で多額の基金が寄せられました。この年から国際親善奨学生制度が始まりました。

1983年イリノイ州法による非営利団体法人になりました。

2001年の規定審議会で、2005年までに一人当たり100ドルにしようという決議がされました。

2004年規定審議会で「毎年あなたも100ドルを」期待することを全ロータリーアンに知らしめて奨励することが決議されました。

⑯ 大口寄付者

R I 会長代理として地区大会へ来られた、韓国の呉在璟 P G は、もう10回以上も P H F になったと言っておられました。大分前の事ですからその後も続けておられれば15回、20回にもなっておられるでしょう。

同じく R I 会長として第2760地区の地区大会へ来られた日本の P G (申し訳ありませんがお名前を失念してしまいました。) の方が、毎年1,000ドルづつ寄付するよう務めているとおっしゃいました。この P G も勿論大口寄付者になっておられるはずです。

この様な篤志家の大口寄付と毎年少しづつでも確実に寄付を続けている会員によってR財団が支えられています。

⑯ アジア地区のR財団寄付 資料 2

韓国は昔から寄与率の高い国でした。インド、台湾、フィリピンなども寄与しています。ただこれらの国は貧富の差が大きくて、沢山寄付するロータリアンがいると思えば、財団の人道的補助金プログラムのお世話になる人も多くて、矛盾を感じます。しかしよその国の内情をあれこれ言うのは、内政干渉に当たるのでしょうか。

R Cの援助というものはどうあるべきかを考えさせられます。本来はその国の政府が実行すべき事を、やってないからR Cが援助するという形になります。

そういう国で水爆を持ったりミサイルを持ったりしているというのも、納得出来ない気持ちですが、援助を必要とする人が実在するのが現実ですから、躊躇してもいられません。

⑯ 「奉仕」というもの

恵まれた人が、恵まれない人に施しをするべきと言う考え方があります。一方で貧しい者は施しを受ける権利があって、富む者は施しの義務があるという考え方もあります。

日本人には当然のことが、外国では当然でなく、外国で当然のことが日本人には意外に思われるすることが有るようです。国際間の考え方の違いというものは、想像以上に大きなものようです。

⑰ 「奉仕」という言葉

キリスト教徒でない私には、「奉仕」という言葉にはどうも違和感が有ります。日本語の「サービス」という言葉も、又独特のニュアンスが有るようです。いつかの「ロータリの友」に何か良い事業はないかという投書がありましたから、私だけではないのかと思っています。

⑱ ポリオプラス

ポリオのワクチン接種は、その国の政府が自国の政策として行うべきものと考えます。貧富の差の大きな国なら富裕者からその資金を出させてでも行うべきでしょう。しかし、よその国にそのような指示は出来ません。その間にも疫病で早死にしたり、麻痺が残ったりする子供が出ています。

このような国自身、WHO、ユニセフなどが行うべき課題に対して、ポリオプラスという事業はロータリークラブがそのきっかけをつくってやる為に行った事業だと思います。きっかけをつくって事業が始まれば、いつまでもロータリークラブが事業を行ってゆくというものはありません。

勿論その事業に協賛し、援助するのは当然でしょうが、ロータリーが自分の仕事とするには余りに巨大な仕事すぎます。ロータリークラブの仕事は、このきっかけをつけてやる事にあります。

ポリオプラスが始まる前に、天然痘撲滅運動というものがありました。これにはロータリーは直接関与はしていなかったと思います。

1962年 インドのワクチン政策失敗

1966年 WHOによるWHO全世界痘瘡根絶計画

1973年 WHOの直接介入

↓

1980年 天然痘根絶宣言

種痘中止

1990年 世界の人口の半数が天然痘に感受性あり

万一天然痘ウィルスが侵入すれば大流行の危険あり

ポリオプラスはこの痘瘡根絶計画に影響されているものと思われます。しかしポリオと天然痘は疾患が違いますから、その計画の実行には違う苦労がつきまといます。

ワクチンによる疾病予防というものには、生まれてくる新しい世代に絶えずワクチンを続けなくてはならないという宿命があります。現在の全世界の子供に接種出来たとしても次年に生れてきた子供に接種しなければ、又次の流行が起ります。

ワクチン以外の予防法や治療法が出来るまでは、このワクチン接種は続けていないと、いつ再流行が起きるのかわからず、発生しない年が重なれば重なるほど、次の流行の被害が大



きくなります。ですからこのポリオプラスには終わりがないのです。毎年タワクチン接種をしていなければ、いつ流行が再燃するかもしれない危険がありますから大変です。

地上からポリオウィルスというものが無くなってしまえば大丈夫でしょうが、そう簡単に無くなるものでは無い様に思えます。

2005年にポリオ根絶宣言を出すという目標が建てられていましたが、最近のニュースだと、2005年の根絶宣言は諦めざるをえないようです。まだ当分の間は根絶ということは難しい様な気がします。

附録

「前原勝樹氏著 ロータリー入門(2005～06年版)よりポリオプラス計画の項 抜粋」

- ポリオプラス計画

国連WHOの一翼を担っての事業

ポリオ(麻疹、百日咳、ジフテリア、破傷風、結核も含む) のワクチン接種

1991年6月 日本での募金が成功裡に終了

2000年までにポリオ撲滅

2005年までに撲滅を証明することを目標

2002年7月からポリオ撲滅募金キャンペーン「約束を守ろう、ポリオをなくそう」

2001年10月WHOはこの目標に4億ドル不足のみこみ

R I が2002年国際協議会で8,000万ドル募金キャンペーンを発表

予想必要額は2億7,500万ドルに減少

日本は8,000万ドルの2割の1,600万ドルを3年で集める目標

2003年ブリスベーン国際大会

ポリオ撲滅キャンペーン寄付が8,850万ドルに達したと報告

- ポリオプラスパートナー計画

個人、クラブ、地区レベルでのプログラム

ワクチン一斉投与日への協力

根絶証明の為の検査施設、技術者養成

2002年～2003年は中断

2003年～2004年から再開

次回例会案内 平成17年11月16日（水）

「日本を美しくする会世界大会 in ブラジルに参加して」

会員 竹中義雄君